

令和8年6月定例会一般質問 要約版

質問者 中瀬 修 議員

I 【今後の消防団活動について】

質問 1

議員：消防団員の現状について伺う。

町長：本年度の消防団員数は、5月末日現在で219人と定員243人に達していない状況である。依然として団員の確保が重要な課題である。

質問 2

議員：団員減少対策と「多様な人材」の活用について伺う。

町長：本町の団員減少は、若年層人口の減少、地域コミュニティ意識の変化が影響している。多様な人が多様な関わり方で、地域防災に参加することができる仕組みづくりが必要だと考える。それぞれの能力やライフスタイルに応じた体制づくりも必要と考える。女性に限らず、継続的に活躍できる団運営として、「入団しやすい」、「続けやすい」、「成長できる」の3つの視点が重要だ。「女性団員の確保・育成」については、募集方法の工夫、入団しやすい環境づくり、キャリア形成や育成、ハラスメント防止などが重要になる。柔軟な参加が可能となる制度設計の構築、訓練時の託児サービス等子育て支援への配慮などが重要と考える。

質問 3

議員：持続可能な活動とするための支援について伺う。

町長：「団員の負担軽減」については、訓練回数や拘束時間の見直し、デジタル化による連絡負担の軽減、家族への理解促進も必要だ。「地域との連携」については、出動への配慮等、自主防災組織や自治公民館との防災訓練の共同実施、地域行事への参加も必要だ。「処遇改善」については、負担に見合った処遇となるよう適切に対応し、定期的に防火衣・装備品の更新を行いたい。「技術活用」については、昨年度導入したドローンを有効に活用できる技術の拡大、女性用設備の導入が必要と考える。

質問 4

議員：消防力維持への公費負担について伺う。

町長：「地域防災を支える準公共インフラ」として扱われるべき段階に来ていると思う。「団員が活動をして生活が崩れない」ことへの公費投入が重要と考える。

質問 5

議員：地域全体で支援する仕組みづくりについて伺う。

町長：団員確保につながる効果的な仕組みを見極め、取り組みたい。

質問 6

議員：地域防災について伺う。

町長：自治公民館、自主防災組織、消防団は、役割分担と情報共有を明確にし「地域防災の協働体制」を構築することが重要と考える。平時からの訓練や日常交流、情報共有、相互理解を積み重ねたい。

質問 7

議員：未来の地域防災を担う子どもたちを育成する防災教育の充実について伺う。

町長：未来の地域防災を担う子どもたちを育成することは大変重要である。

教育長：近隣自治体の取り組みを参考に関係部署と相談していきたい。

質問 8

議員：これからの消防団のあり方について総括的な見解を伺う。

町長：地域社会を守るための持続可能な「準公共インフラ」として制度の充実を図る仕組みを考えたい。

2 【部活動地域展開と地域スポーツ基盤づくりについて】

質問 1

議員：部活動地域展開について伺う。

教育長：本町の課題は、指導者の確保や育成、受け皿となる地域クラブ等の体制整備、安全管理や活動場所の確保、保護者負担への配慮など多くあるため、丁寧に検討を進めたい。

質問 2

議員：子どもたちの活動機会確保や地域展開に伴う課題への対応について伺う。

教育長：部活動は、心身の成長や仲間づくり、社会性の育成などの観点から大変重要と認識している。学校の実情や児童生徒数の推移、地域におけるスポーツ・文化団体の活動状況等を踏まえながら、地域資源を生かした持続可能な活動環境づくりに取り組みたい。

質問 3

議員：地域クラブやスポーツ団体、OB・OG等を活用した地域人材育成について伺う。

教育長：地域移行を円滑に進める上で、地域クラブやスポーツ団体、実績のあるOB、OGは、大変貴重な財産だ。多様な専門性をもつ地域人材の活用は、子どもたちが高いレベルの技術や多様な文化に触れる絶好の機会となる。指導技術の向上のみならず、子どもの発達の段階に応じた適切な指導や安全管理、コンプライアンスに関する研修を充実させたい。

質問 4

議員：これまで部活動が担ってきた教育的役割について伺う。

教育長：部活動は技能の向上だけでなく、協力、礼節、努力など、人格形成にも大きく寄与してきた。地域展開後も、こうした教育的価値が失われないよう取り組みたい。

質問 5

議員：サークル型活動について伺う。

教育長：競技力向上だけではなく、楽しみながら継続的に参加したいというニーズも高まっている。運動や文化活動に親しむ機会を広く保障も重要と考える。

質問 6

議員：広域的な部活動地域展開について伺う。

教育長：近隣自治体や関係団体との連携は選択肢の一つだ。活動継続が困難な種目等は、広域的連携も必要と思う。一方で、移動手段や安全面、保護者負担などの課題があり、子どもたちにとって無理のない持続可能な仕組みとなるよう連携を図りたい。

質問 7

議員：スポーツや文化活動に親しむ環境、基盤づくりについて伺う。

教育長：地域で活動するには、受け皿と支えがあって初めて成り立つものだ。連携を図り、本町の実情にあった持続可能な基盤づくりを進めたい。